

# やさしい木の「ぬくもり」を

社会福祉法人 稚内木馬館 障害福祉サービス事業所 稚内第一木馬館 管理者 阿部 富士代  
URL <http://mokubakan.jp/moku-ju/>



## ■はじめに

「働きたい、働かせたい」そんなちっちゃな願いが多くの人に支えられ「障害」があっても「働ける」・・・「働く場」稚内木馬館を昭和61年に誕生させました。

稚内木馬館は、北海道の北の端、稚内空港に近い場所にあります。

諸先輩方が、沢山の苦勞の末、養護学校を卒業した子供たち、また長く入院をしていた方たちの日中活動を支える場所として、この事業所ができあがりました。

平成24年4月より「就労継続支援B型」定員40名として、「障害福祉サービス事業所稚内第一木馬館」が新たにスタートしました。主に知的障害の方が半数以上です。



(障害福祉サービス事業所稚内第一木馬館)

新体制となり、木工作業を授産として継続することの困難さを、来所される方にお聞きしたりもしました。幸いにも、木馬館の「木工品」を必要としていただけのお客様がいらっしゃることで、今まで頑張ることができました。

## ■障害者優先調達推進法

「障害者優先調達推進法」が平成25年4月より施行されて、官公庁、民間企業への障害者施設への発注などの呼びかけもされているようですが、多くの企業又は個人レベルでも「障害者施設」でどのような物ができるのか、きっと解りかねていることと思います。

それゆえ、施設からの発信が必要なのかも知れません。

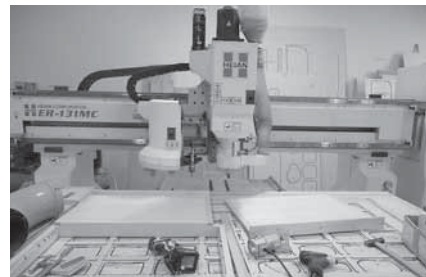
私達の施設は、そのような中でもこの法が施行される以前より、官公庁、民間企業またお客様ひとりひとりの口添えにてご注文をいただいている現状です。

とてもありがたいことと思っています。



(市立稚内病院リハビリ室 天井吸音材：NCルーター加工)

稚内市役所様、市立稚内病院様、そして民間企業様からも沢山のご注文をいただくことができています。そういったお客様の要望にこたえることができる機械「NCルーターマシン」「レーザー加工機」をはじめいろいろな機械を使いこなせる施設職員の技術、またそれを支えてくれている利用者さんの頑張りがある今があります。

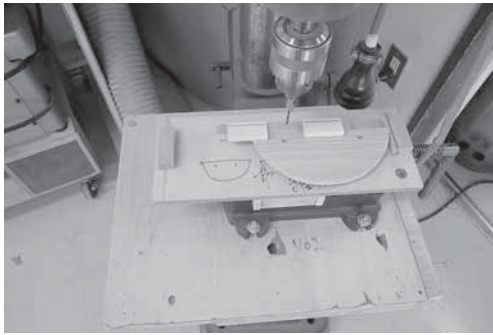


(NCルーターマシン)

利用者さんに頑張ってもらうためにも必要な支援のひとつとして、作業用、作品用の「補助具」の開発を行い、商品ひとつひとつに合わせて職員が作製しています。



(商品：最北写真たての補助具)



(卓上ボール盤に備えた補助具)

さまざまな補助具を使用して、利用者さんが一人でも頼まれた仕事ができるようになってきました。ですから、私達の作業場の中には、商品の数だけ補助具があるとと言っても過言ではないと思います。

お客様からの特別な注文（家具、記念品など）にあっても、利用者さんの力によるペーパーがけ、塗装、組み立てがあり創りあげることができています。

昨年度納品させていただいた商品を少しご紹介させていただきます。



(木製シャッター式棚)



(下駄箱)

#### ■リピーター様に支えられて

施設の商品の目玉とも言えるのが「子供いす」です。手すり付き子供いす、手すりなし子供いす、積み木入りボックス型子供いす、ボックス型子供いすの4種類があります。

この子供いすは、どの種類も沢山の方のリピーター様がいらっしゃいます。

出産祝いとして、贈られた方、また自分がいただいた「うれしかったので、お友達にも」と子供いすの連鎖があります。

「積み木入りボックス型子供いす」は、2010年に北海道新聞で紹介されました。

掲載された時には、およそ1ヶ月で60台を超えるご注文をいただきました。



(ニレ集成材)



背もたれにはレーザー加工機、利用者さんによる糸のこ作業にてお子様の名前を入れることができます。

どうぞ、出産祝い、誕生日のお祝いにいかがですか。

#### ■木工品販売会

施設で年1回行われる行事です。

この施設ができてから20数回食品、ゲームなどを地域の皆さんに楽しんでもらい、「木」とふれあい木工教室などを行ってきました。

新体制になってからは、規模を縮小し「木工品」のみの販売会とし、皆様に沢山見て買っていただけることを期待して、できるだけ多くの商品を用意しています。

恒例のように、開始の1時間も前より並ぶお客様で「あっ！」という間に目玉商品がなくなります。

ですから、今後は開催時間いっぱい商品が並んでいることを課題に商品を作製しなければ・・・と、職員が考えています。

「新商品」・・・このテーマは、商品を作り販売していくなかでは大きな課題として残されています。

「どのような物が」「作業化となるのか」「売れるのか」そんな事を考えながら日々頑張っています。



(沢山のお客様が並んでくれています。)



玄関をはみだしお越しいただいたお客様へ、記念品として「木の10cm定規」をお配りさせていただきました。

レーザー加工機で正確にメモリを入れた定規です。写真がなく残念です・・・。



(遊びの広場・・・親は買い物, 子は遊ぶ・・・)



販売会で人気のシリーズ「カントリー調」家具のほんのひとつです。

ベンチ・積み木・子供用の玩具などなど、販売会の時にしか手に入らない商品が沢山あります。

前回の販売会には、リサイクルをし、利用者さんにペーパーで磨いてもらい塗装し直して出来上がった「学習机」は好評でした（お客様自身の車に積まれお

帰りになりました）。



(2×4材を利用しています)

その時、改めて「リサイクル」も立派になる・・・と確信しました。

施設では主として「タモ材」を利用し、積み木・ティッシュボックス・写真立てなどの日用品や玩具、また「シナ材」を利用した季節の風景、額縁シズムや着色した玩具などをつくっています。



(サンタさんの神経衰弱)

#### ■おわりに

法人内では、認知症のグループホーム、デイサービスなどの事業も行っています。

認知症の方達に遊んでいただく玩具なども、数点作製させていただきました。

これからは、介護する方、介護される方が少しでも介護しやすく、されやすくなる物が形になること、また訓練に使える商品なども視野に入れる必要があると考えます。

また、私達の施設は「障害」と向かい合い「支援」という大きな課題を抱えながら、「商品を作る」ということになります。

当たり前のことですが「大変な注文」を受けたから利用者さんの支援ができない・・・は、あってはならないことと考えています。

思うように進まずイライラもあります。それでも、皆「木」が好きで「作ること」が好きで「商品」を作製して行こうと頑張っています。

また、道内の同じように木工品を作製されているしゃる施設との作業の依頼、受託を今後も続けて行きたいと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。